

先頃発表された中央教育審議会の答申によれば、現在の小学校6年生から新しい大学入試制度が始まるようです。そこで、強調されていることが二つあります。一つは、「高等学校で身につけるべき学力を確実に保証すること。」もう一つは、「知識を身につけるだけでなくその知識を活用できるようにすること。」です。これらの改革は、産業界からの強い要請で進められるようです。これまでの大学は、「研究の場」として機能してきました。しかし、実際に社会で働くために必要な能力、国際社会で求められる能力を育てることにについては不十分なようです。

現在の高校生に目を移してみると、大学へ入る段階では今まで通りの入試ですが、当然のことながらその先で求められる能力は、新しい入試制度で測られる能力と同じことです。知識を持っていることは当たり前のこととして、それをどのように活用するのかわめられることは間違いありません。そして、その活用というのは、自分一人だけでということだけではなく、他の人々と協力する中で活用することも含まれます。そこで問われるのがコミュニケーション能力です。大学生の就職活動の際に行われる面接で、採用担当者ががっかりすることが多いのがコミュニケーション能力についてだそうです。多くの学生が「自分は協調性があります。」と答えるのですが、その協調性とは「友達が多い」というものがほとんどで、企業が求める「全く知らない人と、どのようにコミュニケーションをとるのか。」さらにいえば、「利害が対立する人とどのようにコミュニケーションをとるのか。」ということについては、全く考えが及んでいないとのこと。また、コミュニケーションというと発信することばかりに気をとられて、相手の意図を読み取る受信の面には考えが至っていないということも問題視されています。学生が考えるコミュニケーション能力と、社会が求めるコミュニケーション能力には食い違いがあるようです。社会で求められる協調性、そのために必要なコミュニケーション能力について御家庭でも話題にしていだければと思います。

2月1日の、高2東大レベル模試には、53名の生徒が申し込みをしました。より高いレベルのライバルと競ってみたいという志のあらわれとして、頼もしく思います。また、3月には、キャリアウィークとして、卒業生懇談会や、社会人講演会といった将来を考える行事が集中的に行われます。卒業生懇談会は、本校卒業の東大生、京大生、名大生を招き、高校時代の学習や大学生活について語ってもらう会です。社会人講演会は、本校を卒業し、すでに社会で活躍しておられる方を招いて行う講演会です。今年度は、名古屋国税局にお勤めの方をお招きします。生徒の皆さんには、こうした機会をとらえて将来を展望してもらいたいと思います。

3月までの主な進路行事

「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。

- 2/1(日) 2年 駿台高2東大レベル模試(公開会場)
- 2/14(土)15(日) 2年 模試(進研マーク5教科)
- 2/24(火)~27(金) 学年末考査
- 2/25(水)~ 国公立大学2次試験(前期日程)
- 2/28(土) 卒業式
- 3/2(月) 代休、土曜セミナー、卒業生懇談会
- 3/2(月)~7(土) キャリアウィーク
- 3/6(金) 代休(定時制前期入試)
- 3/7(土) 2限授業後、入試会場準備
- 3/8(日)~ 公立大学2次試験(中期日程)
- 3/9(月)~10(火) 家庭学習(全日制入試)
- 3/12(木)~ 国公立大学2次試験(後期日程)
- 春季休業中 1年 大学学部・学科研究、学問研究
- (3/21(土)~4/6(月) 2年 2次試験問題研究
- ただし、4/3(金)は出校日)



センター試験会場にて

1年生

<文型・理型の類型選択を行いました>

今後の進路・人生を大きく方向づける「類型選択」を行いました。生徒の夢・目標に基づいて担任との面談を行い、幅広い可能性を考えながら面談を進めました。担任も、生徒の思いと向き合うとても貴重な機会となりました。御家庭におかれましても、お子さまの将来について考える有意義な時間を持っていただけたことと思います。また、SSH事業による大学・企業との連携も、文型・理型それぞれの立場で、どのように社会で活躍できるのかを知る一助になったのではないのでしょうか。来年度も、生徒の夢・目標が実現できるように学年団の教員が丸となって全力でサポートしてまいります。

<学年末考査が近づいてきました>

2月24日(火)から27日(金)に学年末考査が全12科目で実施されます。3学期は、定期考査が1回のみなので、範囲も広く内容も深いものになります。また、1年間の集大成の考査でもあります。苦手な科目をそのままにしないためにも、早めに準備に取り組み、高校入学以来最高の結果を残すことを目指してもらいたいものです。

<進路SLをすすめています>

センター試験をはじめ、大学入試のしくみに関する学習や、自分の目標とする大学・学部・学科の研究とクラス発表を行いました。入試は遠い先の話ではなく、今から取り組むべきものとして捉えることができるよう、活動をすすめています。さらに、春季休業中には「学部・学科大研究」「研究論文」など、大学入学後の生活を踏まえ、研究を行う進路課題があります。今のうちからさまざまなことに興味を持ち、その上で自分の進路を選ぶ姿勢をもってもらいたいと思います。

2年生

<学習合宿へ行ってきました>

12月24日から27日の3泊4日の日程で、昨年と同じ伊良湖シーパーク&スパにおいて学習合宿を実施しました。参加した282名の生徒は、規則正しい生活のリズムや整えられた環境、何より一緒に努力をする仲間たちの存在によって、普段よりも集中して学習に取り組めたようです。学習合宿は「3年ゼロ学期」の始まりです。国・数・英の講義と自習、さらに、校長先生による化学の特別講義を合わせて1日10時間の学習を行いました。学年全体で良いスタートを切ることができたと思います。



学習合宿の自習時間の一コマです

<東大レベル模試に挑戦します>

2月2日に、東大レベル模試を実施します。初めて校外で実施される模擬試験であり、トップレベルの受験生が集う難易度の高い模擬試験ですが、本校からも53名の生徒が名古屋駅前の駿台予備学校まで受験に行き、高い目標を持つ他校のライバルたちと顔を合わせます。3年生になると、大学別のオープン模試や小論文模試など、希望進路ごとに様々な模試が実施されます。各自の目標に合わせて積極的に参加して、計画的な学習を進めてもらいたいものです。

<進路SLで大学入試への理解を深めています>

1月19日のSLでは、前日まで実施された大学入試センター試験の問題を解き、自身の学力の現状を把握し、同時に目標とするべき学力を確認しました。国語・数学・英語の授業については、すでにセンター試験の出題範囲を学習済みです。これからの1年で、さらなる応用力や実践力をつけて進路実現に向けて頑張っていきます。

また、3月2日には、東大・京大・名大へ進学した卒業生から直接お話を聞く「卒業生懇談会」を実施します。また、同じ日に東京大学、京都大学などの難関大合格を目指す進学講演会も実施します。高い目標と意欲を持って新学期への弾みとしてもらいたいと思います。

3年生

<大学入試センター試験を受験しました>

愛知県立大学、愛知工業大学を会場に、1月17日、18日の2日間で実施された大学入試センター試験を受験しました。前日に校内で行われた激励会の時には、不安そうな表情の生徒も見受けられましたが、当日は皆、元気に試験会場へ集合しました。校長先生・学年主任からの激励の後、応援に駆けつけた先生方とも固い握手を交わして健闘を誓い合いました。当然緊張もあったと思いますが、明るい笑顔で乗り越えていく70回生の姿には、これまでの努力に裏付けられた自信があふれていました。私たち学年団の教員も、自信に違わぬ結果を残してくれるものと心強く感じました。また、今年も、試験中に生徒の力になれば、との願いを込めて学年主任がデザインした合格祈願のシールを貼った豆菓子とキットカットを配布しました。

<国公立大学への出願が始まりました>

センター試験後、自己採点結果に基づいて面談を行い、国公立大学の出願先を決定しました。今年度は、理科で得点調整が行われるなどの混乱もありましたが、3年学年団全員で一人一人の可能性を検討し、ベストの出願ができたものと確信しています。出願校が決まれば、後は自分を信じて合格に向けて突き進むだけです。学年団としても、2次試験に向けて、志望校合格のための特別講座を実施して生徒諸君の学習を支援していきます。センター試験という大きな山を乗り越えたこの時期は、ともすると集中力が途切れてしまうことがあります。御家庭におかれましても、終わった試験については話題にせず、これから行われる試験に向けて前向きに接していただきたいと思います。受験科目数が減り、1科目にかかる学習時間が増えるこの時期は、現役生の学力が一番伸びるときです。温かい御支援をお願いいたします。